

木材の端境期

1年間で最も荷動きが少ないのが梅雨時期の6月です。しかし人間は一年中生きているので本来端境期と言う時期は有りませんが、木材は梅雨時期に材が痛むので嫌う傾向が有ります。

特に白い樹種は、製材直後から表面にカビが付着します。カビの種類にも拠るのですが、材の中まで変色が入る危険性が有ります。

その対策として1年を通して白い樹種を製材しているメーカーは、製材直後から、カビ止剤に浸してそれを防いでいます。しかしその設備を服部商店は持っていません。その為に別の方法を取っています。

現在の服部商店が製材しているメイン樹種はアメリカ産広葉樹です。白い樹種から赤色、それ以外の色の樹種と有りますが、3種類全ての樹種に共通しているのは、本来梅雨時期に広葉樹原木は製材しないのが望ましいです。赤い樹種でも、それ以外の色の樹種でも梅雨時期は、赤身はまだましですが、シラタはカビが付着します。樹種とカビの種類によって材の中まで入るカビとそうでないカビが有りますが、乾燥した時点で、中まで入らないカビが付着していた材の表面は、材が痛んでいなくても、見栄えが悪い状態になっています。

又現在のインターネットが発展した時代に、材質が良くても見栄えの悪い材をマーケットに供給する事は、小生は間違っていると考えています。

服部商店が考える端境期の意味は、広葉樹は出来るだけ梅雨時期は製材しない方が望ましいと言う考え方です。

服部新聞第150号記念イベント

2018年6月20日朝6時、服部新聞146号を書いています。7月号が147号、8月号が148号、9月号が149号、10月号が150号の予定ですが、10月と11月を合わせた新聞にしたいと思っています。勿論151号の正月号はアメリカ出張報告を書く予定です。

ところで服部新聞の購読者は日本全国にいらっしゃいます。現在3500人、毎月50人の方々が増えています。その内容はお客様の守秘義務で詳しい話は出来ませんが、エンドユーザーの方々が1000人以上いらっしゃいます。

その1000人の方々にも物作りの面白さをもっと多く知って頂きたいと思っています。その為には物作りに熱心な建築士・木工所・工房の方々のプレゼンテーションをして頂くページを作りたいと思っています。そこで考えたのが150号記念イベントです。

次のページは2014年7月発行の服部新聞第100号で採用した形ですが、今回はA4ページ1枚に6名の方をご紹介したいと考えています。その概略がその次のページです。

今回準備にはかなりの時間かかかると考えています。146号と147号の2号で、後でも述べますが36の方々を決定したいと思っています。

凄く多くの応募者の、皆様が有る場合も考えています。その場合全体の構成も考える必要が有ると思います。

私一人の力では、神様の最高の贈り物の無垢材の良さをPRするのは無理です。しかし何の行動も起こさないのなら、それは死を意味しています。我々材木屋しか出来ない事は有ると思います。それは、材木の本来の事を包み隠さずお知らせする事では無いでしょうか。

お付き合いの中で、好き嫌いは当然有ると思いますし、人間で有る以上煩惱が有り、欲得で動く事を制し出来ません。

それより服部新聞を読んでもくださる方々は、発行当時の第1号の200人から第150号で10倍以上に増えています。

小さな力かも知れませんが、皆様のお力をお借りして、逆風の材木業界の風を順風にしたいと思っています。

今回は写真1枚を入れます。掲載希望の方を36人募集したいと考えています。別紙お申込み用紙を用意していますので、その用紙を利用してお申込み下さい。

次のページはイメージです。こんな形のエンドユーザー様向けのプレゼンテーションにして頂きたいと考えています。

 **株式会社 服部商店**
無垢材の販売 <http://www.hattoriwood.jp>
代表者 服部雅章
〒596-0011 大阪府岸和田市木材町16-1
Tel-072-438-0173 Fax-072-422-8577 info@hattoriwood.co.jp

お客様の先のお客様は自分のお客様であり、お客様に満足して頂く為に妥協しない物作りを日夜目指す。売れる物より消費者から欲しがられる物を作るのが、服部商店の使命であります。必要な方に必要な形で提供していくのが仕事であり、服部商店はあらゆるお客様の多種多様な要望を聞き、適切にアドバイスをするのも我々木材のプロの責任であると考えています。

江口木材 株式会社
木材卸売業
広島営業所 〒729-0141 広島県尾道市高須町4777番地10
本社 〒454-0003 名古屋市中川区松重町3-10
Tel-0848-38-1935 Fax-0848-38-2095

現在、日本の木材需要環境は必要とされる時に必要とされる品質の材を必要とされる数量を供給する事が非常に難しい状況にあります。江口木材は木材需要を予測して世界中から仕入れお客様への安定供給の為に在庫を持ち、ニーズに合わせた販売に心がけています。常にチャレンジ精神を忘れずにお客様へ「いいもの提案」を心掛けています。

有限会社 星野木芸
木工業 (組子細工) 製作販売
代表者 星野雅信
〒322-0072 栃木県鹿沼市玉田町145
Tel-0289-64-3245 Fax-0289-64-9501

星野木芸は木の町かぬまの建具屋です。
組子製造元(組子細工)投網 曳網 干綱 三ッ組手
特殊デザイン、見積り発注ありましたら、宜しくお願いします。

甘楽木工房
家具製作 <http://kanra-workshop.com/>
代表者 西川 浩
〒370-2201 群馬県甘楽郡甘楽町上野 489
Tel-0274-74-2020 Fax-0274-74-2020 info@kanra-workshop.com

ムク材の家具はそう簡単に壊れるものではなく、長く幾世代にも渡って使い続けることができます。ただ、買った時は気に入ったデザインでも時を経ると古臭い感じになってしまう事は良くあります。まず、デザインに飽きてしまうのです。シンプルで完成度の高いデザインとは何かを追求しています。建築家の方々と仕事をする事が多いので、建物と家具とのマッチングも大切だと考えています。

以前の方法白黒の字だけのプレゼンでは、エンドユーザー様に木の良さを知って頂くには無理が有ると思えました。そこで1枚の写真を入れた構成が良いと思いました。

個人・会社のプレゼンと言うより木に携わっている方達全員の力をお借りして、素晴らしい無垢材を使って頂く為に一緒に取り組んで下さい。と言うメッセージだと考えて下さい。

<p>株式会社服部商店 無垢材の販売・服部雅章 日本・世界中の広葉樹を扱っています。 〒596-0011 大阪府岸和田市木材町 16-1 TEL 072-438-0173 FAX 072-422-8577</p>  <p>開かれた材木屋を目指しています。</p>	<p>このスペースを利用してエンドユーザー様を含む御客様にプレゼンテーションをして下さい。</p>
<p>このスペースを利用してエンドユーザー様を含む御客様にプレゼンテーションをして下さい</p>	<p>このスペースを利用してエンドユーザー様を含む御客様にプレゼンテーションをして下さい</p>
<p>このスペースを利用してエンドユーザー様を含む御客様にプレゼンテーションをして下さい</p>	<p>このスペースを利用してエンドユーザー様を含む御客様にプレゼンテーションをして下さい</p>

世界中に有る植林木

チーク材は世界の3大銘木に該当している超優良品質の材です。主な産地はタイ・ミャンマーです。インドネシアにも有り、同じ仲間なのですが少し品質が落ちるチーク材です。

ここでお話するチーク材は、主に地球の暑い地域に植林されている材です。10年位前から少しずつ植林木のチーク材のお話がありました。小生の記憶が少し曖昧ですが、最初にコスタリカのチーク材のサンプルを見せて頂きました。それをご紹介してくれた方は、材木関係以外の紳士の方だった記憶が有ります。

当時の記憶を辿ると、色は凄く黄色っぽい感じでした。チーク材独特のにおいも有りました。板は航空便で送って来るために仕上げをしてあったと思います。木の肌には、チーク材独特の油っ気も有り、本物のチーク材と確認しましたが、最後にその方にアドバイスしました。伐採時期をもう30年後に出来れば必ず商いで成功するが、今は無理だと10年前に言ったので、もう20年経てば日本に必ず輸入されると思います。

5年前くらいに見せて頂いたのは、ラオスに植林されたチーク材でした。そのサンプルは京都大学出身のN先生に見せて頂きました。コスタリカの材よりずっと品質（原木の太さ）は落ちる材でした。N先生に『このチーク材は細すぎます。日本国内では無理だ』とお話すると、N先生は隣の国バングラディッシュに販売するからと言っていました。そこからはN先生もラオス材に積極的に携わっているとは聞いていないので、この話は無くなったと思います。

3年位前に商社の方が、エクアドルのチーク材の販売をする為にエクアドル人と一緒に服部商店に来てくれたのが一番最近です。その話もコスタリカとラオスの話と共通していました。

3つの産地とも、サンプルから原木の大きさは推定出来ました。共に木が細過ぎます。元一番玉（根っこから2メートル位迄）が末口直径30センチ位しか無いのです。径級が40センチ〜46センチに育てば、世界中どこでも販売できる性能を持つチーク材に育つのですが、3つとも何故か急ぐのです。ここまでは原木を見た事が有りませんでした。

先月名古屋の原木問屋さんから、上記で皆様にご紹介した以外の産地のチーク材の御紹介が有りました。産地はブラジルです。このチーク材の豆知識は多少有りましたが、知識では商いになりません。知恵に替える事が出来なかったら駄目だと感じ、明細を送って頂きました。案の定上記3産地同様細い原木の案内でした。

服部商店の会社の方針が『エンドユーザー様から、材木の質問が有ります。その質問に的確にお答えが出来る事。そうでないと、全面的に信頼感は生まれません。従って服部商店の取り扱い品目の樹種の情報は勿論、取扱い樹種でない事で聞かれる時のこともいつも想定しています』有ります。

取扱いをするか否かは、確かに儲かる、儲からないと言うキーワードも有りますが、それ以前に、「知っていて取扱いはしないと言う方法」と「知らないから取扱いしない」と言うのでは、180度目線は違います。

ブラジル産のチーク材の欠点を理解する為に3本だけサンプルで仕入れして製材しました。結果と申しましょうか、結論は出ました。ここでの評価はこれから商いをしていく上で秘密になりますので言えませんが、一言だけコメントします。

日本国内で使える品質には何かが足りないブラジル産チーク原木でした。

FAX 072-422-8577 又は
メール wood@hattoriwood.co.jp



アンケートのお願い

1、第150号服部新聞上でプレゼンテーションを行いたい。

はい

いいえ

2、はいの方をお願いします。メールアドレスを記入してください。こちらから準備する書類・写真等を揃える手段に使いたいと思います。

会社名	
お名前	
ご住所	
連絡先ご住所	
服部新聞送付先 E-mail	

(株)服部商店
〒596-0011
大阪府岸和田市木材町 16-1
TEL 072-438-0173・0511
服部雅章